

# ● 学部学科同窓会の活動

## 原子力工学会

会長 | 鶴岡 靖彦      副会長 | 佐々木 政彦  
 事務局長 | 千葉 栄幸  
 吉田 茂生

設立 ● 1981年5月22日  
 会員数 ● 4,212名 (2020年4月現在)



● 東海大学工学部原子力工学科1964年度卒  
**鶴岡 靖彦** 会長

### 原子力工学会の歩み

1960年3月、工学部応用理学科原子力工学専攻最初の卒業生が社会で活躍を始めた。まだ国内では原子力発電は行われていなかった。戦後15年を経て米国、英国、フランス、ソビエト、中国など第二次世界大戦戦勝国はそれぞれ原子爆実験を続け、大気中に放出された放射能の観測結果が新聞紙上を賑わせていた。そんななかにあつて、当時の学生たちは「将来の原子力平和利用の担い手の必要性は必須である」との認識をもって、原子力関係技術者の先駆けとして勉学に励んだものでした。

社会から一定の評価を受け、企業や公的機関での生活も安定してきた卒業生の間で原子力工学科(専攻)同窓会設立の機運が高まり、1981年原子力工学専攻開設25周年を機に、東海大学原子力工学会は創設されました。

現在、最初の卒業生が社会に出て以来60年が経過し、会員総数は3000名をこえ、原子力産業の担い手としてばかりでなく、多岐にわたるそれぞれの職場で活躍しています。同窓生としての情報交換や相互の親睦を通じ、学科の教育や研究の一助となるような様々な活動を展開しております。具体的には、

- ・工学会会員による特別講義・講演会の開催／・非常勤講師としての学科教育への協力／・就職に向けての企業説明会の開催／・建学祭における現役学生・教員・工学会員・企業による合同懇親会の開催／・現役学生の東京電力福島第一原子力発電所(1F)見学会の開催／・卒業時の優秀学生への工学会賞授与
- 等々、学科と密に連絡を取りながら、活発に活動を続けております。

工学会としては、現在各年度2名の代議員選出が徹底できず苦勞しているところ

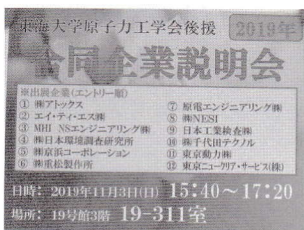
ですが、この問題を解決するためには工学会員相互の連絡を充実させることが求められています。しかしながら、個人情報保護法のもとで、難しい舵取りが要求されます。また、郵送費用の増大による運営経費への圧迫も、その解決を阻んでいる一つの要因です。このようなことから工学会ホームページの充実が当面の重要課題となっています。

ご承知の通り、2011年3月11日の東日本大震災による東電福島第一原発の事故による一般社会とりわけ多くの市民からの原子力に対する厳しい

視線は、工学会員にも少なからず影響が及んでいるところですが、地球温暖化を含めて将来のエネルギー問題解決のためには、これからもなお一層の原子力の安全性に関する教育・研究の推進が必要です。東海大学原子力工学会の存在意義はますます大きくなっていくものと考えています。



原子力工学会ホームページ <https://tokai-atomic.net/>



企業説明会



企業説明会の一コマ